

ギリシャ概況(2019年6月号)

1. 内政

- ・1日 ヴェニゼロスPASOK前党首が、イエニマタKINAL党首がカミニス前アテネ市長を総選挙の全国区の第一候補としたことに反対し、離党した。
- ・2日 地方選挙(決選投票)が実施され、NDが圧勝した。
- ・10日 国会が解散され、7月7日の総選挙実施が公示された。
- ・14日 選挙準備のため内務大臣が交代し、アンドニス・ルパキオティス新内務相が任命された。また、選挙に出馬するジャナコプロス政府報道官が辞任し、後任にクレチヨス・デジタル政策省政務官が任命された。

2. 外政

- ・4日 カトウルガロス外相がギリシャ・キプロス・アルメニア三か国外相会合に出席した(於:ニコシア)。
- ・4日 ギリシャ政府が独政府に対し、戦後補償問題に係る交渉開始を口上書にて要請した。
- ・5日 パヴロプロス大統領が英国におけるノルマンディー上陸作戦記念式典に出席した。
- ・6日 カトウルガロス外相がセント・ペテルブルクにおける国際経済フォーラムに出席し、マージンでラヴロフ・ロシア外相と会談した。
- ・12~13日 カトウルガロス外相がバハレーンを訪問し、同国外相、経済相、産業・観光相と会談した。
- ・14日 チプラス首相が南欧サミット(於:マルタ)に出席した。
- ・20~21日 チプラス首相がEU首脳会合に出席し、アナスタシアディス・キプロス大統領とともに、EU各国首脳に対し、トルコのキプロスEEZでの資源開発に関し然るべく対応することを求めた。
- ・21~22日 藺浦総理補佐官がギリシャを訪問し、カトウルガロス外相、クムツァコスND外交部長他と会談した。
- ・22日 エルピドフォロス・米国大司教の就任式(於:NY)にカトウルガロス外相が出席した。
- ・25日 チプラス首相がフリストフィアス・キプロス元大統領の葬儀に出席するため、キプロスを訪問した。
- ・26日 NATO国防相会合(於:ブリュッセル)のマージンにてアポストラキス国防相がアカル・トルコ国防相と会談した。

3. 移民・難民問題

5 月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が 545 名、島嶼部に到着する者の数が 2,650 名となった。また、EU・トルコ合意に基づき、14 名がトルコに送還された。

5 月 31 日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は 79,500 名。うち、15,800 名が島嶼部に滞在。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

・4 日 欧州統計局によると、ギリシャの失業率は 18.5%(2 月のデータ)となり、1 月から 0.1%下げた。EU 加盟国平均は 6.4%、ユーロ圏は 7.6%。

・5 日 ギリシャ統計局によると、ギリシャの 2019 年第 1 四半期の成長率は 1.3%となり、2019 年全体の成長率は政府目標の 2.3%を下回る可能性が高い。

・8 日 EU のギリシャ経済発展に対する否定的な意見の影響を受け、アテネ株式市場はマイナスに転じ、先週の週間ベースで総合指数は 1.72%下落、銀行株式は 6.23%下落した。

・22 日 ギリシャ統計局の調査によると、51.4%の世帯が急な出費に対応できず、50.7%が 1 週間のバカンスの出費を工面することができないとした。また、43.7%がカードのローン、32.9%が公共料金、29.3%が家賃の支払いに困窮しており、22.9%が暖房費、11.3%が食費を制限しているとした。

(2) 財政

ギリシャ財務省が 6 月 25 日付けで公表した 2019 年 1 月から 5 月の財政統計によると、1 月から 5 月の財政収支は 17 億 6,000 万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは 9 億 1,600 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 201 億 8,600 万ユーロで政府目標を 25 億 4,600 万ユーロ(14.4%増)上回り、歳出は 219 億 4,500 万ユーロと政府目標を 2 億 5,500 万ユーロ上回った。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の 7 月 8 日付の発表によると、5 月の輸入総額は 52 億 3,090 万ユーロ(前年同月比 20.1%増)、輸出総額は 30 億 4,460 万ユーロ(前年同月比 3.0%増)となった。

(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、3 月の観光客は 49 万 5,734 人で前年同月比は 0.2%減となった(国内主要空港の観光客到着数の観光客到着数)。内訳は、アテネ空港が 35 万 6,299 人(同 17.1%増)、テサロニキ空港が 12 万 3,494 人(同 6.5%

増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

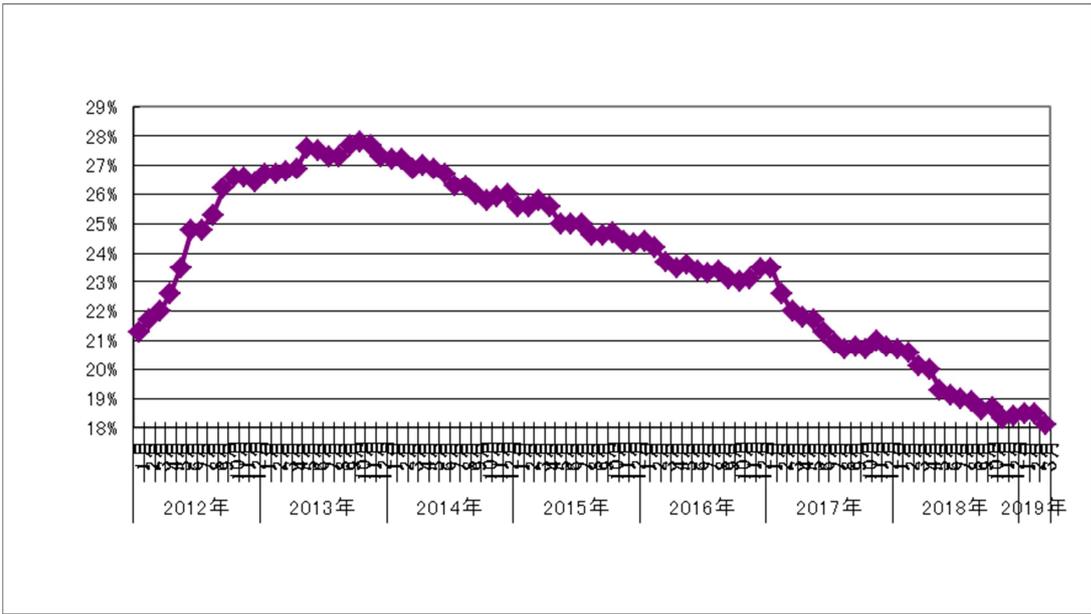
ギリシャ統計局の6月10日付の発表によると、5月の消費者物価指数は前年同月比0.2%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の6月6日付の発表によると、3月の失業率は18.1%となり、前月から1.7%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

※2月の失業率はギリシャ概況5月号発表後、18.5%から18.4%に修正された。

(3) GDP

OECDのデータによると、2019年第1四半期(1月~3月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス1.3%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)